

『言語情報処理モデルでやさしくわかる 失語症リハビリテーション実践ガイド』

正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございました。訂正いたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2026 年 7 月 24 日現在

株式会社診断と治療社 編集部

ページ	訂正箇所	誤	正
79	図 1	c: 語頭の漢字 1 文字 + モーラ数が入った絵カード	c: 語頭の仮名 1 文字 + モーラ数が入った絵カード
110	図 1 (上から 2 つ目のイラスト)		
125	1～4 行	【難易度を下げる方法】 ・心像性および親密度がより高い課題とする 【難易度を上げる方法】 ・心像性および親密度がより低い課題とする	【難易度を下げる方法】 ・心像性および親密度がより高い課題とする ・音韻数を減らす 【難易度を上げる方法】 ・心像性および親密度がより低い課題とする ・音韻数を増やす
131	訓練のポイント (下から 2 行目)	そして、最後に音読を促す	そして、途中で音読を促す